

新報

島根県教育庁
隠岐教育事務所
隠岐の島郡隠岐町24
電話2-9772

新年度にあたり

所長 熊本直宏

新年度が始まり、各学校・職場におかれましては、教育活動が本格化したことと思えます。それぞれ、

新しい職員、新入生を迎え、活気あふれるスタートを切られたと思う反面、四月からの新型コロナウイルス感染拡大の状況もあり、ご苦労も多いのではないかと推察しています。コロナ禍となり二年が過ぎますが、感染状況や保健所の指示により各校の状況に合わせての対応に変化してきているように思います。感染対策

を講じながら、学校でできることを工夫、模索しながら子供たちの「挑戦」

「体験」、そして「学び」

を止めない教育活動を変

わらず実現していただき

たいと思えます。

本年度、隠岐教育事務所

所では次の重点を掲げ、

訪問や研修を通して学校

教育・社会教育のそれぞ

れの充実と連携を図って

いきます。

学校教育について

◇授業づくりに係る支援

① 研究主任等、組織的な取組の推進役を担う担当者を支援する。

② 学校や教育団体等の授業づくり、校内研究や教育研究等の推進に係る主体的・自主的な取組を支援する。

◇生徒指導に係る支援

① 各町村教育委員会と連携し、学校の組織的な生徒指導推進のために支援する。

② 積極的生徒指導の充実を図るため、生徒指導主任・主事を支援する。

◇特別支援教育に係る支援
① 校内体制の構築や充実を図るための支援をする。

② ねらいの明確化とわかる授業づくりのための支援をする。

③ 「つなぐ・つながる」連携を重視し、一貫した支援をする。

社会教育について

◇ふるさと教育の推進

① 系統的・発展的な「ふるさと教育」の展開を支援する。

◇地域全体で子供を育む体制づくりの推進
① 学校・家庭・地域がめざす子供像や地域像を共有できる体制づくりの強化を図る。

② 地域ぐるみで子供を育もうとする気運を醸成する。

◇地域を担う人づくりの推進
① 公民館を核とした人づくりの機能の強化を図る。

② 各町村の地域リーダーをバランスよく、計画的に養成する。

現代は、変化が激しく、先行き不透明な時代と言われます。しかし未来とは、定まった「運命」の

ようなものでなく、「自分は何をするのか、したいのか」という主役感をも

ちながら創っていくものと思えます。未来を開発

すると思えば、今まで感じたことのないやりがいや幸せがそこにあるようにも思えます。主役感をもつて未来を創るためには「自ら課題や展望を見

いだし、粘り強く挑戦し学ぶ人」づくりが必要で

す。そのような人づくりや学びを支えるために、

町村教委や学校をバックアップする姿勢や体制づ

くりを基本にしていきたいと思えます。最後にになりましたが、この度の人事異動により、隠岐教育事務所所長を拝命しました熊本直宏です。

微力ではありますが、隠岐の教育がより充実する

よう励みたいと思えます。新たな職員を加えた二十

名のスタッフと併せてよろしくお願いいたします。

令和4年度 隠岐教育事務所スタッフ

○所長	熊本直宏(新)	2-9770
○総務課		
総務課長	柳楽素賀子(新)	2-9774
主任	早川弘美	2-9773
主事	伊豫月野	2-9772
会計年度任用職員	田崎一葉	2-9772
互助会嘱託	繁浪美穂	2-9779
	(FAX)	2-9777
○学校教育スタッフ		
指導主事(企画幹)	億岐史人	2-9771
指導主事	濱田貴士(新)	2-9778
指導主事(生徒指導担当)	藤野みほか	2-9776
指導主事(特別支援教育担当)	角脇幸子(新)	2-9775
指導主事(特別支援教育支援専任教員)	岡本多恵(新)	2-9775
幼児教育アドバイザー	若林京子	2-9778
指導主事	仲山幸浩(隠岐の島町派遣)	
指導主事	永原富貴子(海士町派遣)	
指導主事	澤純子(西ノ島町派遣)	
指導主事	山下裕次(知夫村派遣・新)	
○社会教育スタッフ		
社会教育主事(企画幹)	加多研吾(新)	2-9776
社会教育主事	古木真紀子(隠岐の島町派遣)	
社会教育主事	池田高理(海士町派遣・新)	
社会教育主事	廣江健介(西ノ島町派遣)	
社会教育主事	広兼行夫(知夫村派遣)	